

A SKI-X SLTD ALL / M SKI-X SLTD ALL

AXLA 1-1 レース艇 (KAWASAKI SX-R ベース艇 / SE 製)

※排気量について

- ①いかなる改造が認められても、ボア×ストローク (SX-R 83 × 69.2 mm) の変更を禁止する。
(SX-R 1498 cm³)
- ②スーパーチャージャー、ターボチャージャー等の過給装置は禁止する。

AXLA 1-2 エンジンブロック

AXLA1-2-1 シリンダー (オーバーサイズ不可)

加工しても良い。

AXLA1-2-2 ピストン関係

リング、ベアリング、ピン、サークリップも含み改造しても良い。(オーバーサイズ不可)

AXLA1-2-3 クランクケース

加工しても良い。

AXLA1-2-4 オイルパン

改造しても良い。

AXLA1-2-5 オイルポンプ

改造しても良い。

AXLA1-2-6 シリンダヘッドアッセンブリー

加工しても良い。(当該純正ヘッド加工)

AXLA1-2-7 ヘッドカバー、エンジンカバー

改造しても良い。

AXLA1-2-8 クランクシャフト アッセンブリー

加工しても良い。(ストロークの変更は不可)

AXLA1-2-9 コンロッド

ブッシングメタルを含み、改造しても良い。

AXLA1-2-10 カムシャフト、バルブ関係

下記の部品について、改造しても良い。

- ① カムシャフト、ギア、テンショナー、チェーン。
- ② バルブ、シム、スプリング、シート、リテーナ、コレット、タペット。

AXLA1-2-11 エンジンダンパー、エンジンブラケット

改造しても良い。

AXLA1-2-12 その他加工、交換、改造は禁止する(一般補修部品は除く)。

AXLA 1-3 吸気系統

AXLA1-3-1 インテークマニフォールド

改造しても良い。

AXLA1-3-2 スロットルボディ

改造しても良い。

AXLA1-3-3 ブローバイシステム

配管レイアウト (パイプライン) は純正同様とする。インテークに戻す。

ホース類は純正相当品 (耐熱、耐油)

AXLA1-3-4 オイルキャッチタンク

取り付け位置の移動及び改造しても良いが、容量は 1500 cc以上とする。
外部にオイル分が漏れださない物であること。

AXLA1-3-5 エアクリーナー関係

改造しても良い。ただし、純正同等のフレームアレスターを装備すること。

ブローバイホースを取付ける為の加工はしてもいいが脱落、漏れのない状態である事

AXLA1-3-6 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。

AXLA 1-4 燃料系統

AXLA1-4-1 燃料システム

- ① 閉鎖システムとし、常にどの様な角度でも外に漏出さないこと。
- ② 燃料供給量を調整するための改造をしても良い。
- ③ 圧力のかかる燃料ラインを改造する場合、圧力が上昇しても抜けにくい構造とすること。
ホースを差し込んだ状態で結束バンドのみで締め付ける方法はこれを禁止する。

AXLA1-4-2 リリーフバルブ（チェックバルブ）

メーカー純正品を追加しても良いが、配管レイアウトは純正同様とする。

AXLA1-4-3 タンクキャップ

社外品と交換しても良い。

AXLA1-4-4 フューエルインジェクター

改造しても良い。

AXLA1-4-5 燃料ホース

- ・メーカー純正品。
- ・メーカー純正品と同等以上の耐油性、耐熱性、耐圧性のあるガソリン用ホース。
(可能であれば品質の証明ができる書類等がある事が望ましい)

AXLA1-4-6 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。

AXLA 1-5 排気系統

AXLA1-5-1 ウォーターボックス

一切の加工を禁止する。

修理は行っても良い（但し、現状復帰の目的のみ。事前に届けを出し、単体にてインスペクションが必要。未確認での使用は禁じる）

AXLA1-5-2 エキゾーストマニフォールド・エキゾーストパイプ

改造しても良い。エキゾーストチューブは改造しても良い。

AXLA1-5-3 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。

AXLA 1-6 冷却及び排水（ビルジ）系統

AXLA1-6-1 冷却ライン

改造しても良い。またラインを追加しても良い。パイプ、フィッティング、検水口、水洗キットなど。

AXLA1-6-2 ビルジドレンシステム

- ・改造しても良い。**ただしエンジンルーム内に油分の漏れ等の可能性のある艇については、電動ビルジポンプや負圧式ドレン（例 ダックビル）は使用をしてはならない。水面への油漏れはペナルティーの対象となり得る。**
- ・電動ビルジポンプを取付けても良い。
- ・ドレンコックは、位置の移動改造をしても良い。

- ・冷却作業中に、水の流れを変更する為の手動式制御装置は取り付けてはならない。

AXLA1-6-3 水温センサー（ヒートセンサー）

取外しても良い。

AXLA1-6-4 検水口

危険を生じない形状で、排水方向は下側または後方にすること。

AXLA1-6-5 冷却水制御装置（ウォーターインジェクション）

取付けても良い。但し、走行時 **86dB** を超えてはならない。

AXLA1-6-6 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。

AXLA 1-7 電気系統

AXLA1-7-1 バッテリー/バッテリーボックス

バッテリー及びバッテリーボックスは社外品を使用してもよい。

バッテリーについて、現在（2022年1月）では水上オートバイにリチウムイオンバッテリーの使用は禁じられている為、その使用は不可とする。

今後、JCI から認可の出るものがあつた場合は搭載を許可する。

バッテリーボックスは改造追加及び、移動しても良い。但し、バッテリーがフィットし安全に固定されていること。

AXLA1-7-2 イグニッションシステム

- ・社外品のイグナイタ電源用スイッチを追加しても良い。
- ・点火タイミング変更用の手動式スイッチを追加しても良い。
- ・イグニッションを構成する電気部品及び、電装ボックスは改造しても良いが確実に固定する事。
- ・フライホイール及びフライホイールカバーは改造しても良い。

AXLA1-7-3 スタート・ストップスイッチアッセンブリー

改造しても良い。

AXLA1-7-5 スターターモーター・ギヤーアッセンブリー

改造しても良い。

AXLA1-7-6 アース線

追加しても良い。

AXLA1-7-7 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。

AXLA 1-8 艇体系統

AXLA1-8-1 デッキ（バンパーより上部の船体）

- ・表面（外側）は修理しても良いが、純正形状より2mm以上変形してはならない。
- ・内側は自由に補強しても良い。（軽量化の為の切削加工・形状変更は禁止）
- ・内側の面に部品を固定するための締め具は、貫通して取り付けても良い。但し、外側に2mm以上突出してはならない。
- ・社外品の電気系スイッチや、メーター類を取り付けても良い。

AXLA1-8-2 ハル（バンパーより下部の船体）

加工しても良い。但し、加工部がバンパー外側のラインからはみ出でないこと。

AXLA1-8-3 スポンソン

フロントエクステンション（以前のフロントスポンソン）は容易に取り外しの可能なボルトオンタイプのもの。

フロントエクステンションは左右で1対。

スポンソン（縦方向にフィン、羽状の物）は左右2対までとする。

- 1 スポンソン、ブラケットはどれもボルトオンで容易に着脱可能であること。
- 2 各スポンソンとフロントエクステンションの全長は各126mmを超えてはならない。
- 3 スポンソン本体の幅（縦）は50mm以上、フィン（羽）の厚さは6mm以上とし、全ての全縁は危険を引き起こさないように丸みを帯びている必要がある事。
- 4 片側にスポンソン・フロントエクステンションが取り付けられている場合、フロントエクステンションは船体に付着している必要があり、スポンソン・フロントエクステンション合計の全長は153cmを超えてはならない。
- 5 スポンソン（フィンの部分）は、ベースより、下側に52mmを超えてはならない。
- 6 スポンソン本体の材質は金属製でもよいが危険を生じないよう丸くすること。
- 7 バンパー外側のラインからはみ出さないこと。
- 8 取付けボルトは突出せず、ナベ頭型トラス頭型など危険のないものとする事。
- 9 ボンドフランジより、外側にスポンソンを取り付けは不可。
- 10 ボンドフランジの内側にスポンソンを取り付けることはできますが、スポンソンはボンドフランジ（バンパーを取り外した）より、はみ出してはならない。
- 11 フィン、ラダー、ウィングなど危険を引き起こす可能性のある付属物は不可。
- 12 ハル滑走面への取付けは禁止する。

AXLA1-8-4 バンパー

改造しても良い。但し、材質・形状及び取り付け方法は純正同等とし、ボンドフランジ側面全周をカバーしていること。

AXLA1-8-5 パッド・マット類

改造しても良い。但し、純正同様に取付いていること。

AXLA1-8-6 ステップキット

取付けても良い。但し、全体をマットなどで覆うこと。

AXLA1-8-7 スプラッシュディフレクター

ボンドフランジの内側に取付けても良い。

- ① 材質は柔らかくしなやかであること。
- ② バンパー外側のラインからはみ出さないこと。

AXLA1-8-8 浮力材

- ・改造しても良い。また、取外しても良い。
- ・沈船しない対策を取ること。
- ・燃料タンク下の浮力材は、取付いていること。

AXLA1-8-9 換気チューブ、ダクト

改造しても良い。但し、沈船しない対策を取ること。

AXLA1-8-10 フード

改造しても良い。フードを留めるためのラッチ等を追加して取付けても良い。但し、危険のないものとする事。

AXLA1-8-11 バランスウェイト

取付けても良い。但し、安全に固定されていること。

AXLA1-8-12 トリムタブ／フラップ

- 1 ハルのトランサムに取り付けても良いが、以下の項目に適合していること。
- 2 トリムタブ下面とハルの滑走面は、平滑であること。
- 3 ハルの滑走面の横幅を越えてはならない。

- 4 バンパー外側のラインよりはみ出してはならない。
- 5 外側の側面の厚みは、10 mm以上とする。
- 6 滑走面の幅以下で、100mm 以下である必要があります。
- 7 可動式でも良い。
- 8 フィン、ラダー、スケグ等他の付加物は取付けを禁止する。

AXLA1-8-13 排気口

カバーは改造しても良い。

排気口の位置はバンパーより下方。船体を水上に浮かべた際に水面下にあること。

ボンドフランジより外側に張り出してはならない。

AXLA1-8-14 曳航ロープ

バウアイに、直径約 20 cmの輪のロープを取付けること。

AXLA1-8-15 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）

AXLA1-8-16 船体重量はフードを外した状態で210Kg 以上(エンジンオイルは含む)

ガソリンに関しては残量に応じて減算いたします（簡易計算 1L=1Kg）

参照) S X - R の燃料タンク容量は23L

AXLA 1-9 ハンドル系統

AXLA1-9-1 ハンドルバーコンブ

固定式ステアリングマウントシステムへ改造しなければならない。

- ・ハンドルにクロスバーがある場合は、クロスバーにパッドを取付けること。
- ・グリップガードは取り付けても良い。
- ・ハンドルを固定するための、ステアリングシャフト、シャフトホルダー、バーホルダー、バーホルダーカバーは追加しても良い。
- ・グリップエンドのアルミなどの付属品は可。但し危険性のないもの。

AXLA1-9-2 ケーブル類

改造しても良い。

AXLA1-9-3 スロットルレバー

改造しても良い。

AXLA1-9-4 ハンドルポール

ハンドルポールコンブは取り外さなければならない。

ブラケットは取り外しても良い。

AXLA1-9-5 ハンドルダンパー

取り付けても良い。

AXLA1-9-6 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。

AXLA 1-10 ポンプ・ドライブ系統

AXLA1-10-1 ポンプケースアッセンブリー（ベーンガイド・ポンプノズル・ステアリングノズル含む）

改造しても良い。

- ・ベーンガイドからステアリングノズルまでは純正品より 50 mm以上長くしてはならない。
- ・チルト装置は、取付けても良い。

AXLA1-10-2 インテークグレート（スコープゲート）・インテークガイド

- ・改造しても良い。但し、以下の項目に適合していること。
- ・ドライブシャフトと平行で取水口全体を覆うバーを1本以上備えている。
- ・全ての全縁は、危険を生じないように、丸くすること。

AXLA1-10-3 ポンプカバー（ライドプレート）改造しても良い。

- ・板厚は5mm以上とする。
- ・純正品の幅を超えてはならない。
- ・**当該機種純正品より100mmまで延長してもよい。**
- ・全縁は突起や鋭角な箇所がないよう、丸くすること。
- ・カバーのオモテ面（滑走面側）はカバーのチェーン部を平行に結んだ線よりはみ出さないこと。
- ・フィン、ラダー、スケグなど危険を引き起こす可能性のある付属物は不可。

AXLA1-10-4 カップリング・ドライブシャフトホルダー・ドライブシャフト

改造しても良い。 **エンジンとポンプ（インペラ）の駆動比が1：1を維持している事。**

AXLA1-10-5 その他加工、交換、改造は禁止する（一般補修部品は除く）。**AXLA 1-11 一般補修部品****AXLA1-11-1 一般補修部品とは以下のものを指し、社外品と交換しても良い。**

但し、純正品に準ずるものとし、仕様変更

（例：純正ベアリングゴムシールド形⇒解放形）は禁止する。

- ①ガスケット類 ②バッテリー **(AX1-7-1 参照)** ③スパークプラグ ④プラグキャップ
⑤ハイテンションコード ⑥配線類 ⑦冷却ホース ⑧クランプ ⑨ボルト
⑩ナット ⑪ワッシャ ⑫結束バンド ⑬ベアリング ⑭オーリング⑮オイルシール

※上記以外のもので一般補修部品に該当するか不安な場合は所定の書式をもって事務局へ問い合わせること。

AXLA1-11-2 磨耗して無くなったネジ山は、修理しても良い。